

Into my Packet



後藤滋樹の

新・社会楽

後藤滋樹
goto@goto.info.waseda.ac.jp
早稲田大学 理工学部 情報学科

第26回「いつか見た顔」

今回は人間の記憶に関する話題。

【覚えていますがとも】

客商売の人は記憶力がよいという説がある。

つい最近、私はシンガポールのホテルに宿泊した。約1年前にも同じホテルに泊まったことがあるのだが、フロント付近の従業員の内で少なくとも2人が私の顔と名前を覚えていた。これはありがたいような、不気味なような感じである。

1年前に宿泊した際には、JPNIC(日本ネットワークインフォメーションセンター)からの「ゴト様宛て」宅配便が約束の期日までに届かなかったり、別の日本人宛てのファックスが私宛てと誤認されたりしたこともある。多少の騒動があったので、それで記憶に残っているのかもしれない。

そう言えば、今回もホテルでチェックインをしている最中に友人からホテル宛てに電話がかかってきたので、やや混乱して宿泊手続きが一時中断した。また、滞在中にはインターネットマガジンの校正をファックスで送受信したり、インターネットソサエティーからの連絡もフロントを経由した。これらのできごとで次回の滞在まで記憶が持続するのだろうか。

もっとも、顔を覚えるのに関して言えば、私の顔立ち
は本誌の似顔絵でも分かるように、平均的日本人
と言うべきだ。格別、特徴もない。現
に電車の中で人違いのために「



では、GOTO
という名前が英語
の単語との連想で記憶
されやすいのかもしれない。
しかし名前には関係しないよう
な事例も経験がある。

さんでしょうか?」と呼び掛けら
れた経験が何度もある。
もしかして、シン
ガポールなど



【座席まで覚えている】

今となっては昔の話になってしまったが、私は
1988年9月と1989年9月の2回にわたってスウェーデンの
ストックホルム大学を訪問した。今回の話題に関係するの
は大学ではなく、大学の前にあるギリシャ風レストランである。
2回目の訪問の際に、大学での長い討論を終えて、昼食のた

めにそのレストランに入った。ストックホルム大学の友人、
我々のリーダー格の佐藤雅彦京大教授たちと一緒にである。さて
料理を注文すると、レストランの主人いわく、「あなたは去年も
ご来店しましたね」

そうだ。確かに去年の今頃も大学に来て、同じレストランで
昼食を楽しんだ。主人が続けて「でも去年のあなたの席は、そ
こではなくあっちでした」

う～む。席まで覚えているのか。これには驚いた。

スウェーデンは、いわゆるゲルマン民族だから金髪、長身で
ある。その中で日本人を含むアジアからの旅行者は目立つとは思
う。ストックホルムではそれほどでもないが、スウェーデンの
西海岸の都市イエテボリを佐藤教授たちと訪問した時には、我
ながら目立つという感じを受けた。

2つの事例とも旅行中の話題である。彼らの記憶に私が日本
人であるという要素が関係しているのだろうか。ただし街中で
目立つのとレストランの席まで覚えているのでは、ちょっと迫
力が違う。

【コンピュータにまねができるかな】

私はコンピュータ屋なので、つい人間と計算機とを比較して
しまう。上の例のようなホテルやレストランの人間の記憶をま
ねしようと思うと、膨大な記憶容量が必要になりそうだ。また
顔のような画像の検索は、今なお研究課題であると思う。

もっとも、人間にとって顔は単なる画像ではないという考え
方もある。最近「顔」の研究という分野が盛んになってきて
いるので、面白い成果を期待したい。

私自身も他人の顔は割合に覚えているほうだが、服装の記憶
が薄い。だから事件の目撃者としては役に立たない場合がある。
さらにほかの弱点もある。私は米国で交通事故を目撃したこと
がある。その時、警官に質問された。「運転していた人の髪
の毛の色は?」「金髪でした。」「では目の色は?」「えーと、
目の色ですが……覚えていません」

なるほど、カルフォルニア州の運転免許には住
所、氏名、性別、生年月日のほかに、
HAIR、EYES、HEIGHT、WEIGHTとい
う欄がある。目撃者はEYESを覚え
ていないとイケマセン。私ではコ
ンピュータどころか写真機にも
負けそうだ。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp